

# プログラム終了直後の参加者インタビュー

## <午前> コワーキングスペースでのワーク

### ● コワーキングスペースのワーク環境について

- ・ 社外コワーキングスペースでの業務経験なく端末接続に不安があったが大丈夫でスムーズに仕事できた。
- ・ スペースのわりに少し電源が少ないのではないかと感じた。
- ・ QUINTBRIDGE（弊社のオープンイノベーション拠点）と同レベルの高い設備クオリティ。
- ・ 念のためモバイルWiFi持参で行ってオンライン会議行った。
- ・ 貸切会議室は、設備（電源・充電器・大画面等）が揃い不自由なく仕事できた。
- ・ パソコン繋がらないと1日仕事できないという不安が参加前にあったが行ってみて大丈夫だった（自分のITスキルを向上せねばと思った）。

### ● リモートワークについて

- ・ 気分が変わったからか昨日煮詰まっていた仕事が「アレっ」とできてしまった。
- ・ 普段、社外で仕事する機会がほとんどなく今回は念願がかなった。
- ・ 普段と異なる開放的な空間・異なるメンバーの中で仕事ができリフレッシュした。
- ・ 地域おこし協力隊のハブにもなっている
- ・ リモートワーク・地域の方との触れあい等昨今の「オフィスが街に溶けていく」とはこの感覚だ

## <午後> 障がい者就労支援センター作業支援

### ● 不安感等

- ・ 指導員・障がい者の方々から高級感あるパッケージの作り方を教えてもらえ当初の不安が解消した。
- ・ 普段とは異なる仕事をして楽しくリフレッシュになった。

### ● 障がい者の方々とのかかわり

- ・ 障がい者の方々とは何も隔たりなく明るく話し作業ができた。
- ・ 最初、活動に身構えていた自分が、徐々に自然なかかわりができるようになり「身構えすぎていたのではないか」と感じた。
- ・ 最初こちらが身構えてたのかもしれない、大人の忖度のないピュアな障がい者との会話がそこにはあった。
- ・ 徐々によそよそしさがなくなり、普通にその場に溶け込んで作業している空気感があった。
- ・ 初体験だったが、障がい者とかわす言動から、今ここでやっている作業そのものがこの会社の役に立っていると思え、それが自分の働き甲斐に繋がっていくように思えた。

### ● ビジネスとしての取組

- ・ 作業に慣れても手を抜かず、基本的に忠実に作業されているところに感心した。
- ・ ビジネスとしてのジャム創り（品質・考え方・応対）を行う障がい者施設として素晴らしい。

### ● その他

- ・ このような地域貢献ならもっと大勢の参加者を集めてもよいのではないかと。もっと広めて三重支店に共感の横ぐし（一枚岩）ができればよいと思う。

# 明和町役場の職員さんから明和町紹介 (コワーキングスペースにて)



# Wakuwakuジャム贈答用梱包材作業支援 (障がい者就業支援施設にて)